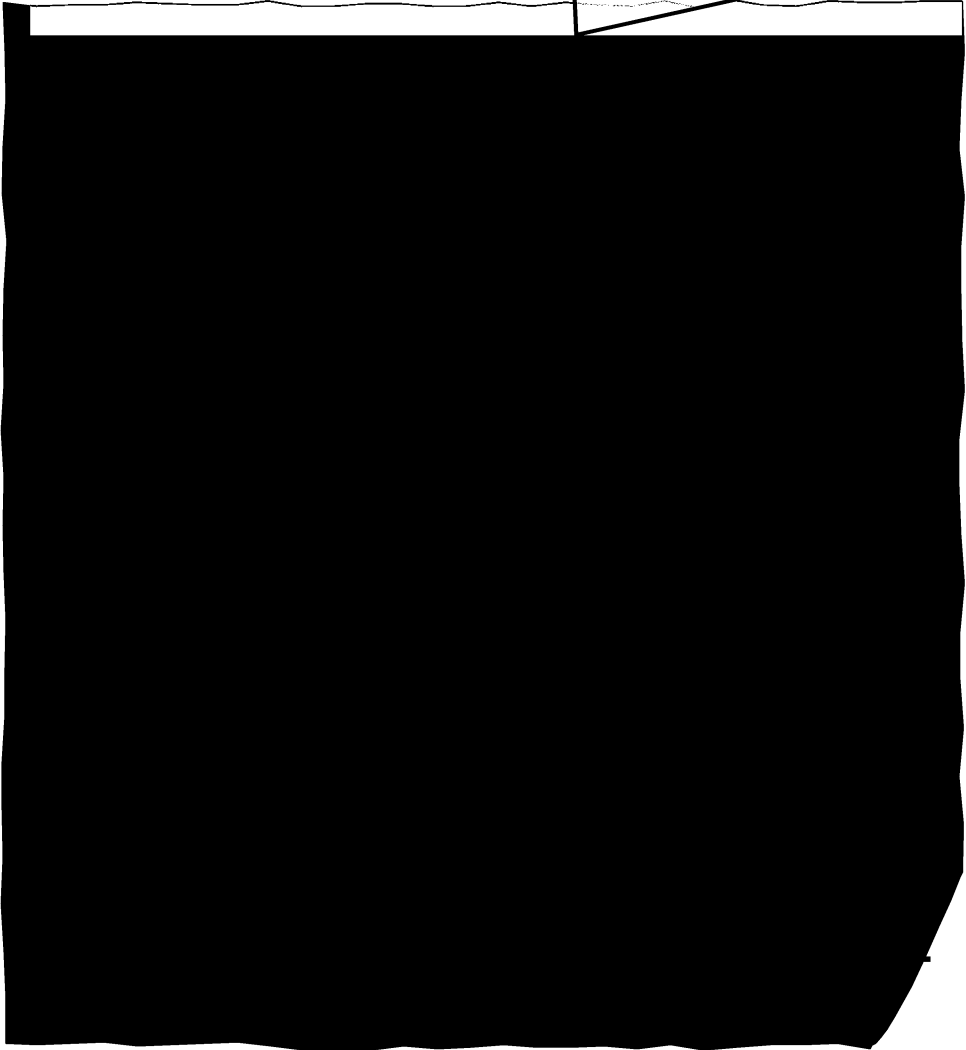




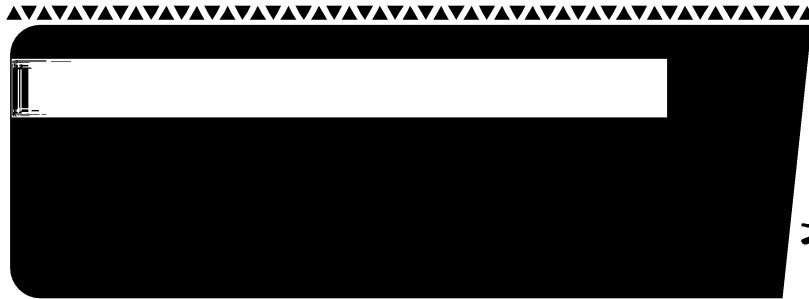
キャンプがない中みなさんと顔を合わす機会がなく元気に過ごされているのか気になってます?! ?!  
最近の近況等なんでも構いませんので事務局にFAX又はメール頂けるとスタッフ一同嬉しいです?! ?!



### 水流さん からの メッセージ

太陽の塔が、通天閣が、とうとう真っ赤に染められてしまいました。山に映える赤は澄んだ青空と常緑樹の緑のコントラストが美しいのですが、太陽の塔にも通天閣にも赤は似合いません。今年は全世界が新型コロナウイルスという見えない敵に苦しめられています。こんなに地球上が混乱に陥ったのは第二次世界大戦以来の出来事ではないでしょうか。イギリスではワクチンが承認されたようです。しかし、まだまだ現状からの大きな転換は望めそうにありません。会員のみなさまにおかれましては、新しい生活様式の中で我慢の日々が続いていることでしょう。

さて、キャンピズでは今年の2月以降のキャンプはすべて中止を余儀なくされています。国の緊急事態宣言が解けた後、8月の長期キャンプを実施すべく、参加者のみなさまへの感染防止ガイドライン等の作成も進めましたが、感染の第二波が急激に伸びゆく中、キャンプでの密着の回避は困難と判断し、募集をかけたにもかかわらず中止せざるを得ない状況となりました。申し込みをしていただき、参加を楽しみにしていたクラブ会員のみなさまやご家族に大変な失望感を与えてしまったこと、心よりお詫びいたします。また、キャンプに向けてプログラムを考え、感染対策などの検討も含め準備を進めてくれていた学生会員のみなさまの期待にも応えることができず、心を痛めております。このような状況下ではありますが、ささやかながら、フェイスブックやユーチューブでの動画配信などを試み、キャンプ再開に向けて動き出しているところです。12月5日には四ツ橋診療所の安井医師をお招きしてメイト会員に向けた「新型コロナウイルス」に関する研修会を実施し、ウイルスとの正しいつき合い方について学びました。まだまだ、明るい兆しは見えてきませんが、キャンプ再開に向けて着実に歩みを進めてまいります。もうしばらくお待ちください。



## 事務局メッセージ



### キャンピズFB紹介 是非ご覧ください!



### 他にも過去のキャンプ風景など多数掲載??

実はキャンピズもSNSをやっていました?

キャンプの風景や会議の様子などを中心に掲載しています?

現在コロナの中スタッフが家でキャンプ気分を味わっている様子も掲載していますので是非ご覧ください?



ジャーサラダ

絶品キャンプ飯



ちがよく話していたので反応が早く、ストレスを感じているように思いますが、自然に優しく、厳しく目で見てわかるように説明いただけたらと思います。

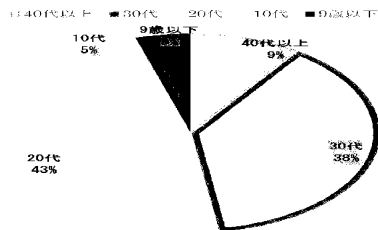
- 君の場合、マスクを嫌がり、すぐに外そうとすることや、急に人（特に子どもの頭髪）に触れたりすることに注意が必要です
- ・手洗いを頻繁に行う なるべくマスクを着用する（キャンパーさんのことです。スタッフは必須）
- ・徹底的な手の消毒 もちろんマスク 食事の際、向かい合わないようにするとか
- ・よく口に指を入れるので、定期的に手の消毒をさせてほしいです。車やバスで移動するのなら、換気をこまめに行なってほしいです
- ・マスク・手洗いなど いつも以上の声掛けが必要になります

10. その他、質問や要望、気になる点など書いてください。

- ・プログラムができない年度であっても仕方ないと思います。コロナ終息までがんばりましょう。
- ・今、若い人たちの間で感染が広がっているのが極重になってしまいます
- ・キャンピズをなくさないでほしい！生活の一部なので・・・今年は何方ないですけど
- ・キャンピズに参加して数年、本人は毎回とても楽しみにしていて、ライフワークの一部となってきていたので、今回のコロナはとても残念です。スタッフの方たちも顔を覚えてくださり本当に楽しみにしています。ただ、コロナが収束するまでは、基礎疾患もあり参加は難しいです。現在は人の多い所は怖がり、ヘルパーさんとも出かけていません。本当にキャンピズができるようになってほしいですね。学生スタッフの方たちもまた会いたい。どうしてるのかななんて言っています。
- ・今更だとも思いますが親子一緒にキャンピイかがでしょうか。親同士の交流 子どものキャンピイでの様子知りたいです
- ・どのような形でももう少し収束しないと難しいように思います。集合場所への移動、そこから現地への移動も電車になると時間帯により混雑すると心配です。食事はパーベキューだとマスクを外している時間が長くなるので昼食を持参し、屋外でのほうがいいのかと思います
- ・コロナの中でも細やかに対応下さりありがとうございます。またキャンピズできる日を楽しみにしています。
- ・キャンピズはまだ？とよく聞かれます。楽しみにしていますので、開催できますようよろしくお願いたします
- ・参加者の方を介助するにあたりどうしても接触しなければならぬことが多いので、今まで通りの形では難しいと思いますが、消毒をお互いにこまめにするなどして、きれいな手で口や鼻をさされるように気を付けたら大丈夫ではないでしょうか？

- ・バスを貸し切りで行事を企画すれば、キャンピズ関係者以外との接触を減らすことができるので、バス貸し切りが望ましいです。PCR検査で陰性の人たちばかりで行けるといいですが・・・
- ・仕事をしているので正直参加には迷います。夏のキャンピズの際は帰省後2週間休むつもりでした。でも本人はキャンピズのキャンピズを楽しみにしており参加したがると思います。早く予防接種ができるようになってほしいです。
- ・全介助が必要なので今の状況ではどんな企画でも難しいです。コロナが終息したら、遊ぶ顔が見たいです。皆様お気をつけて。ご自愛下さい。

11. キャンパーの年齢をお答えください



貴重なご意見をありがとうございました。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

## 3つの「密」を避けましょう!

- ① 密閉空間
- ② 多数が集まる密集場所
- ③ 近接会話や食卓を囲む密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)発生を防止することが重要で、日頃の生活の中で3つの「密」が重ならぬ工夫しましょう。

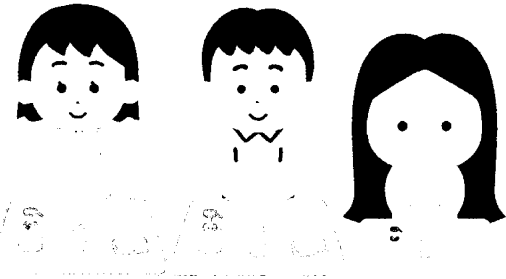


※利用開始: 9時30分開始 | 受付: 10時 | 会場: 大阪市西区民センター

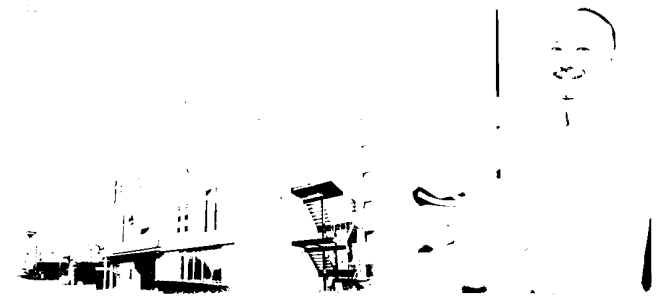


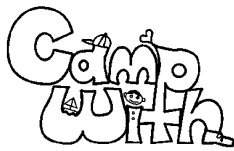
※現在は新型コロナウイルスの影響を考慮し休止中

12月5日(土) 大阪市西区民センターにて医療法人弘清会 四ツ橋診療所より安井医師をお招きし、学生対象に“新型コロナウイルス対策講座”を開催しました。講座は感染予防を徹底し、消毒、検温、換気、ソーシャルディスタンスを保ち実施しました。また、会場に集まる人数を制限するため、zoomによるオンライン設備も整えより多くの学生に参加していただきました。



今回の講座を学生だけにとどめず、社会人スタッフ向けにも開催予定です。その際、講座内容を録画し、会員の皆さまにもご覧いただけるよう準備を進めております。開催後、閲覧方法等詳しい情報をご連絡いたします。

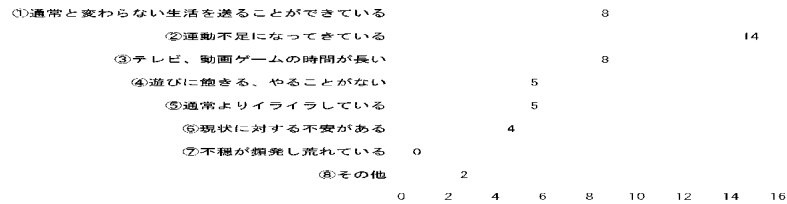




## これからのキャンプ活動に関する意向アンケート結果

回収時期：2020年7月31日～8月19日  
回収率 32.8% (回収 22件・未回収 45件)

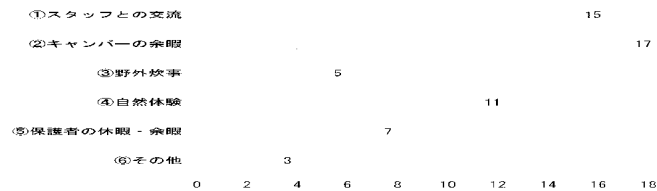
### 1. メンバーの現在の状況(複数回答可)



### 2. 1.で「その他」と答えた方は、その内容をお答えください

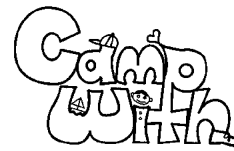
- ・本人はコロナかわからないのでキャンプがないのがおかしいと思っていてイライラしているみたいです
- ・作業所を週1回ほど自主的に休むようになった。キャンプの中止、ガイドさんとの休日の外出キャンセルでストレスがたまっている
- ・キャンプのメンバーに会いたがる
- ・通所等で生活リズムはあまり変わっていませんが、運動機体と肥満の影響で運動不足が顕著だと思えます。
- ・機能低下・施設に人酔しているため緊急事態宣言の間外泊せずだったのでほとんど自中は辛い状態で、ひざの関節が固まり、今までできていた室内での四つ這いがひざが痛くて辛そうで動きにくそうです。今は、2週間毎に外泊。その間、プールで歩いているがなかなか元に戻りません。

### 3. キャンピスのキャンプに求めているもの(複数回答可)



#### 【その他】

- ・親と離れた自立(グループホーム)へのステップ
- ・同世代の子どもの交流
- ・多くの人と過ごすことで社会性・協調性を身につける
- ・⑤保護者の休暇、余暇について  
現在の1泊キャンプの実施状況(午後1時出発午後3時解散)では、(ありがたく参加させていたが)実際のところ、送り迎えのあわただしさで、さほどゆっくりできているとは思いません。朝9時ごろ出発し、夕方時ごろ解散だと少しはゆとりが生まれるかも……。親が休暇として実感できるのは3泊～10泊ぐらいの日数があるときかなと思います。



- ・ン授業になり、スタッフの募集、育成に支障をきたすのではないかと心配しています
- ・ガイドヘルパーさんとの外出だと1対1になってしまい、すべてのヘルパーさんではないですが後者から見守っているだけの方もいらっしゃると思います。キャンプズだと他のキャンパーさんやスタッフの方と一緒に活動でき、1対1ではできないことが楽しめることが魅力だと思います
- ・集団生活での学びの経験があります。いろいろな行事の楽しみも皆さんのふれあいでコミュニケーションなどがあります
- ・日常と違う体験ができる親と離れ活動することで、協調性・社会性が身につく
- ・子どもはコロナの中でも「キャンプに行きたい!」と言っています。小さい頃の自然体験と世代を越えた交流はかけがえのないものだと思います。宿泊は楽しい経験ですが、4人1室など多人数で部屋を共有するのがネックだなと思います
- ・同年代(大学生)の人たちとの行動機会が少ないので本人はとても楽しみにしています
- ・子ども一人に対し一人のスタッフがついてくれる。ほかの野外キャンプには参加しづらくても、スタッフさんのきめ細かい対応があるので参加できる
- ・マンツーマンスタッフさんがついて下さるところ。若い方が一緒にいて下さることで親というより体力を使うところ
- ・若い学生の方やいろんな経験がある先生たちと親と離れて自分なりの位置で一人の人間として社会の一員として楽しんでいるところだと思います。作業所での作業はわが子にとって仕事としてとらえ、楽しみとしてまた自分なりの時間を持てるように思います
- ・何よりも営利目的でない純然たる善意のボランティアに支えられた行事・活動であること。そして、それに参加し、本人がその善意と行為を受取できるところが魅力だと思います
- ・遊ばずボランティアだからということで、活動内容がマンネリ化したり、指導技術が未熟なままであったり、また責任の在り方や取り方が社会通念に満たないもので許容されたりしない、毅然とした姿勢を維持できているか否かが課題かと思えます
- ・多くの人たちと寝食を共にすることによって、本人は知ってもらうことができるし、スタッフもよく知ることができる。宿泊を伴う企画をしているところが魅力
- ・ヘルパーのように1対1ではなく、大人数で楽しめること。宿泊を伴うちょっとした旅行も楽しみにしている
- ・重症の障害があっても受け入れてくがさって楽しませてもらえること!
- ・親では経験させられないいろいろな体験をさせていただけなので感謝しています
- ・若い人たちとの交流

### 9. キャンププログラムについて、またボランティアスタッフがキャンパーさんを介助する際に感染予防の見地から配慮してほしい点や気になる点を書いてください(自由記述)

- ・プログラムに参加する人はマスクをちゃんとすることを参加条件としてほしい
- ・手洗い・マスク・うがい
- ・対人距離をとるなど通常の感染防止対策で十分だと思いますが、うちの子に限って言えば、マスクになると怒ってマスクをとったりしてしまいます。ご迷惑をおかけしてしまいそうで心配です。
- ・トイレの時、手すりや触ってしまうところの除菌・トイレ後の手洗いと消毒
- ・介助する方は配慮はなかなか難しいですが、マスク以外はできないのは・・・
- ・小さなグループで人混みが少ないところへ外出してほしい。大きな体育館を借りてリズム体操など体を動かしてほしい
- ・キャンピスで障害者とかかかっていることを心にとめて普段の行動に注意していただければと思っています
- ・キャンプの開催が決まった際には、2週間程度前からの健康観察だけでなく、感染の恐れの高いと思われる場所(居酒屋・カラオケBOX・ライブハウスなど)への立ち入りや飲み会などの大人数での会食は自粛していただくかと思っています。お世間になっておるので心苦しいですが、参加するキャンパー含め、そうしていただけたら感染リスクを少しでも減らせるのではないかと思います
- ・手指・物の消毒。距離が近くなるものがどうしてもあると思うので少し心配です
- ・親が現地まで車で送り。外遊び→また車で帰るがリスクが多少低くなるかと考えますが、今は実体自衛難しい各々考えています。スタッフの皆さんの安全確保も大事にしてほしいです
- ・消毒をまめにしてくれたら満足です
- ・子どもは学校と家庭から近い行動範囲ですが、スタッフさんの普段の行動範囲は広いと思いますので、キャンプの前段階から、感染の可能性の高い場所へはなるべくいかないなどの注意をしていただければと思います。子どもがすぐマスクを外してしまうので、周りのスタッフさんはくれぐれもお気をつけてください
- ・おなじマスクができればベストですが、どちらかがマスクをしていれば飛沫は飛んでも大丈夫とお聞きしたことがあります。マスクをするのが難しい参加者の方でもスタッフさんがマスクをしていれば参加可能ではないでしょうか
- ・「マスクと手洗い」
- ・子どもにとってウイルスがどんなものなのか、何に私たちは毎日恐れているのか、お母さんがわからないようにただ「マスクをする」「手を洗う」日常と思えるようにさせているので、人と直接接触、せき・飛沫などはわからないので、また、コロナという、言葉も私た